

令和 6 年度	年間授業計画	教科	公民	科目	公共
教 科 : 公民	科 目 : 公共	単位数 : 2 単位			
対象学年組 : 第 2 学年					
教科担当者 : 1組 山田 2組 山田 3組 山田 4組 山田 5組 山田 6組 山田	実教出版 公共、ズームアップ 2024				

教科	公民	の目標 :
【知 識 及 び 技 能】	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う	
【思考力、判断力、表現力等】	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。・諸資料から、情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	

科目	公共	の目標 :
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各長に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。	多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方にについての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深めている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	配当時数		
			知	思	態
單 元 1 社会を作る私たち	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方にについて理解している。	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であり、他社の価値観を尊重することができるようになる存在であることを理解している。			
【思考力、判断力、表現力】	・教材 地域社会などの様々な集団の一員として生き、他社との協働により当事者として国家・社会など多面的・多角的に考察し、表現している。	【思考力・判断力・表現力】 社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。			
【学びに向かう力、人間性等】	・一人 1 台端末の活用（場面） よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、自覚を深めようとしている。	【学びに向かう力、人間性等】 社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。			
單 元 2 人間としてよく生きる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 伝統や文化、先人の取り組みや知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他社の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 選択・判断として、個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、公正などの義務を重視する考え方などを理解している。			
【思考力、判断力、表現力】	・教材 地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。	【思考力・判断力・表現力】 国家・社会などの公共的な空間を作る存在について多面的・多角的に考察し、表現している。			
【学びに向かう力、人間性等】	・一人 1 台端末の活用（場面） 公共的な空間における人間としての在り方生き方にについての自覚を深めようとしている。	【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、在り方生き方にについての自覚を深めようとしている。			
定期考査（第 1 学期中間考査）/返却と解説					
單 元 3 他者とともに生きる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 青年期の特徴と発達課題、様々な人間の心の在り方について理解する	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 伝統や文化、先人の取り組みや知恵に触れたりし、価値観を尊重することができるようになる存在であることを理解している。			
【思考力、判断力、表現力】	・教材 思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。	【思考力・判断力・表現力】 人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。			
【学びに向かう力、人間性等】	・一人 1 台端末の活用（場面） 公共的な空間における人間としての在り方生き方にについての自覚を深めようとしている。	【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における人間としての在り方生き方にについての自覚を深めようとしている。			
單 元 4 民主社会の倫理	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任、義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることを理解している。			
【思考力、判断力、表現力】	・教材 個人と社会との関係における合意を政治的にいかにして形成することができるか多面的・多角的に考察し、表現している。	【思考力・判断力・表現力】 個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。			
【学びに向かう力、人間性等】	・一人 1 台端末の活用（場面） 民主政治のしくみと課題について主体的に追究し、意欲的に解決しようとしている。	【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。			
定期考査（第 1 学期末考査）/返却と解説					

令和 6 年度	年間授業計画	教科	公民	科目	公共
教科名 : 公民	科目名 : 公共	単位数 : 2 単位			
対象学年組 : 第 2 学年					
教科担当者 :	1組 山田	2組 山田	3組 山田	4組 山田	5組 山田
使用教科書 :	実教出版 公共、ズームアップ 2024				

教科	公民	の目標 :
【知識及び技能】	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う	
【思考力、判断力、表現力等】	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。・諸資料から、情報を適切かつ効果的に調べてまとめることができる。	
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	

科目	公共	の目標 :
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各國が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。	多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方にについての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深めている。

単元	具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	配当時数		
				知	思	態
単元 5 民主国家における基本原理	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none"><li>・指導事項</li></ul> 現実社会の諸課題に関する諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報をまとめた技能を身に付けています。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none"><li>・指導事項</li></ul> 現実社会の諸課題に関する諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報をまとめた技能を身に付けています。	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none"><li>・指導事項</li></ul> 現実社会の諸課題に関する諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報をまとめた技能を身に付けています。			
単元 6 日本国憲法の基本的性格	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none"><li>・指導事項</li></ul> 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図る	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none"><li>・指導事項</li></ul> 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図る	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none"><li>・指導事項</li></ul> 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図る			
定期考査（第2学期中期中間考査）/返却と解説						
単元 7 日本の政治機構と政治参加	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none"><li>・指導事項</li></ul> 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図る	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none"><li>・指導事項</li></ul> 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図る	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none"><li>・指導事項</li></ul> 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図る			
定期考査（第2学期中期中間考査）/返却と解説						
単元 8 現代の経済社会	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none"><li>・指導事項</li></ul> 法や規範などを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持について理解している。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none"><li>・指導事項</li></ul> 法や規範などを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持について理解している。	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 <ul style="list-style-type: none"><li>・指導事項</li></ul> 法や規範などを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持について理解している。			
定期考査（第2学期期末考査）/返却と解説						

令和 6 年度	年間授業計画		教科	公民	科目	公共
教科 :	公民		科 目 :	公共	単位数 :	2 単位
対象学年組 : 第 2 学年						
教科担当者 :	1組 山田	2組 山田	3組 山田	4組 山田	5組 山田	6組 山田
使用教科書 :	実教出版 公共、ズームアップ 2024					

教科	公民	の目標 :
【知 識 及 び 技 能】	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う	
【思考力、判断力、表現力等】	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。・諸資料から、情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	

科目	公共	の目標 :
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各國が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。	多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方にについての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深めている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
単元 9 日本経済の特質と国民生活	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】				
【知識及び技能】	現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報をまとめる技能を身に付けています。	戦後の日本経済の成長と課題	経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。			
【思考力、判断力、表現力】	その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したりしたこと、論拠をもって表している。	・教材 教科書・プリント	【思考力・判断力・表現力】 必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けています。			
【学びに向かう力、人間性等】	・一人 1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
国民主権を担う公民としての自覚を基に、民主政治のしくみと課題について主体的に追究し、意欲的に解決しようとしている。	デジタル教材	少子化や高齢化など現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
単元 10 國際政治の動向と課題	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】				
【知識及び技能】	活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。	国際社会と国際法	自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けています。			
【思考力、判断力、表現力】	その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	・教材 教科書・プリント	【思考力・判断力・表現力】 主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。			
【学びに向かう力、人間性等】	・一人 1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	デジタル教材	国際貢献を含む国際社会に我が国の役割など現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
単元 11 國際経済のつながりと課題	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】				
【知識及び技能】	現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動する技能を身に付けています。	貿易と国際収支	国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。			
【思考力、判断力、表現力】	その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	・教材 教科書・プリント	【思考力・判断力・表現力】 合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に構想したことを、論拠をもって表現している。			
【学びに向かう力、人間性等】	・一人 1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	デジタル教材	現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
単元 12 発展途上国との諸課題と日本の役割	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】				
【知識及び技能】	我が国の安全保障・防衛、国際貢献を含む国際社会における現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	発展途上国との諸課題と日本の役割	国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。			
【思考力、判断力、表現力】	その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	・教材 教科書・プリント	【思考力・判断力・表現力】 合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に構想したことを、論拠をもって表現している。			
【学びに向かう力、人間性等】	・一人 1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	デジタル教材	現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
定期考查（学年末検査）/返却と解説						

3 学期